

# iOSアプリ制作のための Objective-C入門

---

中川 聡

nakasen\_20th



# ねらい

- 最近 iOS アプリ開発を「やりたくなかった」
- 最近 iOS アプリ開発を「やらなければならなくなかった」

「とにかく慣れていただきましょう」

# 本日やること

## ■ 質問シート型のアプリを作成

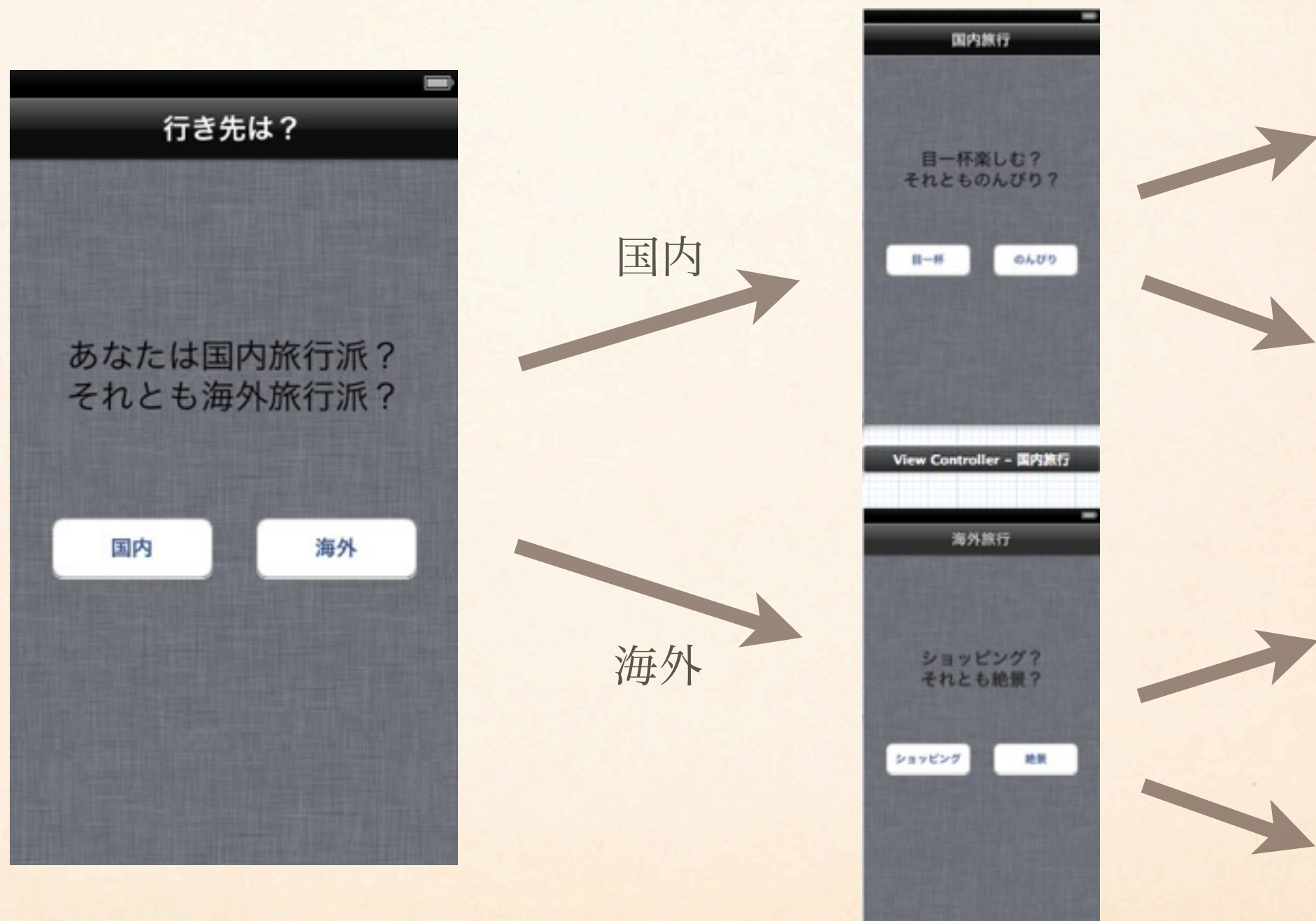
1. まずは1行もプログラムを書かずに
2. 次にGUIツールを全く使わずに

＊ 本日のリソースは全てGitHubに上がってます！

[https://github.com/nakasen/iOS\\_Seminar\\_for\\_beginners](https://github.com/nakasen/iOS_Seminar_for_beginners)



# どんなアプリ？





# Storyboardのみで作る



赤線の部分  
重要



# テンプレート選び

- 新規プロジェクトの際テンプレート選びが重要
- 今回は（たいていの場合は）「iOS」→「Application」  
→「Single View Application」
- 間違えて選んだことにあとで気付いたら、ジタバタする  
より作り直した方が早い（初心者のうちは）

# Storyboardでのキーワード

説明に必要なのでこれだけは。（赤枠内から）

Navigator Area   Utilities Area

Standard Editor   Assistant Editor

Project Navigator

Attributes inspector   Size inspector   Connections inspector

Object library   Media library



# Storyboardでの作業

- Object library から UIパーツを選んで View 上に貼る

(これは簡単。失敗したら Command + Z)

- オブジェクトから Control + ドラッグでひもづけ

(これは・・・間違えないように。ミスは後々響く)

(見て覚えて体で覚える。忘れたらGitHubの「Manual.txt」を見ましょう)



# Storyboardを一切使わない

- 「iOS」 → 「Application」 → 「Empty Application」
- 必要なキーワードが増えます。

Debug Area

Search Navigator   Issue Navigator   Debug Navigator

File inspector   Quick Help inspector

# 何を書かないといけないの？

- とりあえず動かしてみる
- Debug Area になんと書いてある？
- 足りないものをコードで生成してみる



# やっ と Objective-C

- アプリケーションの起動プロセスを知る

## A Day In The Life

「iOS アプリの構造がどのようなになっているか紐解いてみる」  
の記事が素晴らしい！ （こんなにわかりやすく書けない）

- AppDelegate.m で UIWindow オブジェクトを生成
- Root View Controller の役割を果たすものが必要

# Objective-Cの特徴

- Cとオブジェクト指向のハイブリッド言語
- メソッドの定義、呼び出し方が独特
- あとは普通に動的オブジェクト指向言語です
- 元がC言語なので、書く側のモラルは当然必要



# Objective-Cのメソッド

- 定義

```
- (NSString *)addString:(NSString *)string1 nextString:(NSString *)string2
{
    NSString *compositeString = string1;
    compositeString = [compositeString stringByAppendingString:string2];
    return compositeString;
}
```

- 呼び出し

```
NSString *displayString = [self addString:@"ABC" nextString:@"DEF"];
```

# メソッド呼び出し

- メソッドの引数をメソッドで呼び出し

```
int number = 123;  
NSString *displayString =  
[self addString:@"ABC" nextString:[NSString stringWithFormat:@"%d", number]];
```



# View Controller

- Window には Root View Controller が必要
- View Controller には最低一枚の View が必要
- UI パーツは View に addSubview

# UIKit フレームワーク

- UI 処理は UIKit フレームワークにおまかせ
- UIWindow UIViewController UINavigationController  
UILabel UIButton . . .
- Apple 公式ドキュメント  
「iOS ヒューマンインターフェースガイドライン」  
は膨大なユーザテストの成果物



# Xcodeの強みを活かす

- Jump to Definition は使える！  
(ソースコードを右クリック)
- 補完もかなりイケる！
- Quick Help も親切！
- UIKit オブジェクトを Jump to Definition と Quick Help  
で追いかけて行けば、Objective-C の習得にもつながる

# プロパティ

- インスタンスのアクセサメソッドを自動生成
- getter メソッド名はインスタンス名そのまま
- setter メソッド名は set + 大文字で始まるインスタンス名
- ドットシンタックスでアクセスできる  
→ メソッド呼び出しソースの読みにくさを緩和



# NSLog とブレイクポイント

- デバッグ時のダンプには NSLog() 関数

```
NSLog(@"displayString = %@", displayString);
```

- ブレイクポイント設定時、設定したこと忘れないで

# スコープなど

- @private、@protected、@public  
(デフォルトは@protected)
- ある方法を使うと隠蔽は破られる 気をつけましょう
- 外部クラスのオブジェクトへのアクセスは通知が基本
- 通知の方法はおおよそ 3 通り 次回以降の勉強会で